

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 2月 22日

事業所名 運動療育センター こころ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		プログラムに応じて、運動スペースと遊びのスペースを調整しています。	活動の目的が分かるように、より明確に構造化できるように境調整をしています。
	2 職員の配置数は適切である	○		利用される方のニーズに対応できる配置を心がけております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		構造化を意識して目的ごとにエリアを分けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		午前午後などお迎えする前には、掃除と消毒をしております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフ一人一人も業務に関する目標を設定して、3か月ごとに振り返りをしていながら業務改善を努めております。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価結果を事業所全体で周知と見直しを行っております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所玄関とホームページで公開しております。	利用者の方々への発信も併せて検討していきたい。(例:LINEで公開場所を通知するなど。)
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、外部評価は未実施。	今後、業務改善の為に第三者からの目線を導入するために外部評価を検討しております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師の研修とオンラインでの研修を月2回とOJTを実施。	事業所内のみでなく、外部講師などの研修など促進していく予定です。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		事業所内で個別計画会議も行っております。	事業所内での会議の運用方法をより合理的に進めるように仕組化を検討中です。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCチャートのアセスメントツールを利用。	全職員が共通できるような評価ツールを検討予定。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを参照して、相談支援事業所の相談員や保護者との面談などから多角的な視点で選択するようにしております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援管理責任者が作成した計画書を元に、支援を行っております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングを1回/w行ない、保育士・児童指導員や機能訓練担当職員などの視点で立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ミーティングを1回/w行ない、保育士・児童指導員や機能訓練担当職員などの視点で立案している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		定期的にモニタリングをしながら、適宜プログラムを組み合わせしております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		口頭での確認と手順書のようにスタッフで支援の内容を確認しております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援実施後に振り返りを行い、細かな声掛け方や誘導の仕方までスタッフ間で共有をするようにしております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の記載と記載のチェックを行い、記録漏れの予防と振り返りやプログラム立案時などに検証・改善につなげております。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に保護者や保育園・幼稚園からのヒアリングを行うように心がけております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		状況や目的に応じて参加者を選出して、業務を調整しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援事業所や利用児が生活している保育園・幼稚園との情報共有や連携を意識した支援を心がけています。	
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて療育での活動の報告をするように心がけております。	
	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて療育での活動を書面などを用いて情報共有をするように心がけております。	
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて療育での活動を書面などを用いて情報共有をするように心がけております。	
	26 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現状はないため、まずは併設の保育園とのかかわりなどを作れるように現在企画検討をしています。	来年度での企画検討を進めていきます。
	27 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		毎月通所分科会に参加しております。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やLINEを活用しながら、相互で伝えあえるように意識しております。	日々のご様子など気軽に伝えやすいようにスタッフ一人一人も意識していくようにしたいと考えております。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		面談時などにヒアリングをして自宅での環境や誘導の仕方などを相談援助しております。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や変更時に文書などで示すようにしております。	
	31 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインを参照して、保護者と面談をしながら説明をさせてもらっております。	
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		LINEなどを活用しながら、受付をしやすいように工夫をしています。	LINEなどのツールを活用するための周知活動を今後徹底していきます。
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		企画がまだできていないため、来年度以降で企画検討をしていきたいと考えております。
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情窓口設置や電話や直接以外の窓口としてLINEを活用できることを周知しております。	窓口や活用しているツールについての周知を徹底していきます。
	35 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な広報の発行と活動報告しております。	
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の取り扱いに関しても活用の場面ごとに同意をいただく。	
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援を用いて予定が分かるように工夫をしています。	
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事などへの招待はできていません。	今後の自治会への関わり方も計画していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルに沿って定期的に訓練などを行っております。	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルに沿って定期的に訓練などを行っております。	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用時の契約の際にフェイスシートとして現在の情報として確認をさせていただいております。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成してスタッフへの周知を行っています。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っております。	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		委員会の整備をおこなっており、マニュアルに沿って対応できるようにしております。	